

平成22年度

事業計画書

財団法人

一宮地場産業ファッションデザインセンター

PRODUCT (売れるモノづくり)

プロダクト事業

1. モノづくりプロジェクト

FDCとテキスタイルメーカー等が、新商品開発や販路開拓を目的としたトレンド情報を共有し、参加企業がそれぞれ独自の発想や強みを活かして、アパレルや小売店へ提案できる商品を開発し、市場に発信することを目的とするプロジェクトを推進する。モノづくりには最新のトレンド情報と共にマーケット情報も活用し、より消費者に受け入れられる商品に仕上げる。【新規】

(1)トレンド情報の活用

フランスのトレンド発信企業であるネリーロディ社と提携して得るトレンド情報を、セミナー等を通じて会得し活用することで、ファッショントレンドに基づく企画開発、モノづくりを進める。

(2)マーケット情報の活用

アパレルマーケティング企業と提携して、セミナー等で最新のマーケット情報をテキスタイル企業に提供し、顧客基点の売れるモノづくりを進める。

2. ジャパン・ヤーン・フェア (JY) の開催

織物企画を進めるにあたって重要な地位を占める「糸」の展示会を開催することにより、川上企業と川中企業の出会いの場を創出し、素材からの差別化商品の新開発を支援する。【継続】

3. 新資源・新素材の試作・開発・商品化への支援

愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターや「FDC匠ネットワーク」を活用するなどして、若手のテキスタイルデザイナー等が行うモノづくりや試作・開発など創作活動に対して指導・支援する。

新資源・新素材の試作・開発及び商品化について、尾張繊維技術センターなど研究機関や企業の持つアイデアで共同開発を行うなどの、グループ研究活動への支援を行う。

複数企業のグループ化など水平・垂直連携や、異業種交流による共同企画提案型ビジネスの構築に対し、支援を行う。【改新】

PERSON (人材育成)

人材育成事業 (カレッジ技の尾州支援事業・特別会計)

1. 繊維産業中核人材育成セミナー「尾州インパナ塾」

多様化するニーズに対応すべく素材の複合化技術や産地に受け継がれる高度な製造技術などにより、差別化・高付加価値製品を企画し効率的に製造できる能力を有し、川下企業へ積極的に提案できる、企業の中核を担う人材を育成する。【継続】

2. ビジネススキルアップセミナー

産地繊維企業の中堅営業担当者を中心に、営業能力のスキルアップを図る。【継続】

3. 各種セミナー

(1) 経営者向けセミナー

企業経営の第一線で活躍している経営者・後継者を対象として、時代の潮流を探り、経済競争に打ち勝つ経営戦略を理解するとともに、組織活性化や情報交換等により、経営力・販売力の向上を図るためのセミナー【新規】

(2) 輸出に関する知識取得セミナー

輸出業務に積極的に切り込むために必要な知識を備えるため、輸出の仕組みなどの基礎知識の取得や実務能力の強化を図るためのセミナー【新規】

(3) ファッショントレンドセミナー

モノづくりにおける企画開発に活用するため、フランスのトレンド発信企業であるネリーロディ社の、ファッショントレンド情報を提供するセミナー【継続】

(4) マーケットセミナー

顧客基点で分析するアパレルマーケティング企業の、マーケット情報を提供するセミナー【改新】

(5) 技術セミナー

テキスタイル技術、染色加工、アパレル技術、インテリア技術などを解説するセミナー【継続】

(6) 新規採用者向けセミナー

新入社員を対象とした繊維の基礎を学ぶ技術セミナー【継続】

(7) 川下企業との交流

アパレル、小売業の川下分野で短期間・集中的に行われているMD等人材育成セミナーに産地の人材を派遣し、川下との交流・連携の促進を図る。【継続】

4. 学生のための人材育成

(1) 翔工房

学生のアイデア等と「FDC匠ネットワーク」の繊維技術との産学コラボレーションを実現するために開発グループを結成し、テキスタイルの創作のための設備や材料等を支援するとともに、技術指導を行う。生地制作体験を通じて、学生に将来のモノづくりへの道筋をつける。【改新】

(2) インターンシップ事業

次代のファッション産業を担う若者（専門学校生、大学生、高校生等）を対象に地場産業の魅力伝え、将来にわたって地域産業に関わりの持てる人材の確保を図る。【継続】

(3) 学生トレンドセミナー

学生向けにファッショントレンドをわかりやすく解説するセミナーを実施し、繊維産業への興味をつなげ、人材の確保を図る。【継続】

(4) 学生産地研修会

モノづくりを学ぶ学生に産地を紹介するとともに工場見学等を実施し、産地の魅力を伝え、人材の確保を図る。【継続】

PROMOTION (ビジネスチャンスの創出)

プロモーション事業

1. 東京展の開催

ファッション・ビジネスの中核機能を占める東京市場において商談を目的とした展示

商談会を開催し、販路の開拓、市場ニーズの把握を推進する。2011 春夏展を 5 月に青山ベルコモンズ（東京都港区北青山）において、2011-2012 秋冬展を 11 月に恵比寿ガーデンホール（東京都目黒区三田）において開催する。

<内容>

◎2011 春夏および 2011-2012 秋冬 F D C トレンド生地及びそのガーマントをインデックスとして展示

◎出展企業のオリジナル生地・他を各企業ブースにて展示【改新】

2. トレンドパネル展の開催

ネリーロディ社が把握・分析する世界のファッショントレンドをテーマ毎に分類し、素材トレンド情報をより具体的な素材スワッチパネルにして展示する。【改新】

3. 川下企業とのコラボレーション

(1) デザイナー等との提携

国内の大手アパレル等のデザイナー、新進気鋭のクリエイターや百貨店等のコーディネーター等商品を企画する者と、テキスタイルを制作する企業とがコラボレーションで商品企画を行い、新たな販路開拓を目指す。これにより産地企業が川下企業と組んで、「商品企画・生産・営業販売」の機能連携を図ることで、「メーカー」を超越してファッション・ビジネスの中での主導権を確保し、著名ブランドへの安定的な販路の獲得と、企業のイメージアップ戦略とする。【新規】

(2) 百貨店等との提携

テキスタイルメーカーが、特に地元の百貨店、専門店等、小売部門と提携し、オーダーメイドの洋服を販売することで、テキスタイルの販路拡大を図る。
上質で価値の高い「メイドイン尾州」の地場製品として、双方の商品企画力により小売店での品揃えを強化し、PB（プライベートブランド）を確立しながら新規顧客の開拓を目指す。【新規】

4. 尾州トータルイメージアップ活動

(1) 産地アピールキャンペーン

AWI（オーストラリアン・ウール・イノベーション）や百貨店などとタイアップし、ウールや産地商品について各方面に広くPRを行う。尾州産地商品の優秀性や、二酸化炭素削減や省エネルギーの取組みなど産地の環境保全活動をアピールし、販路開拓につなげる。【新規】

(2) ジョイント・尾州（JB）ブランドの支援

JBブランドの展示会開催などを支援し、産地の活性化を図る。【継続】

(3) 尾州春夏合同展「B i s h u S t y l e」の支援

尾州産地の春夏物をアピールし、生産の平準化を図り、産地の活性化につなげる。【継続】

(4) J T C（ジャパン・テキスタイル・コンテスト）の支援

コンテストの開催によりテキスタイルデザイナーの技術向上を奨励、顕彰し、産地のアピールを図る。【継続】

(5) 広報活動事業（地域産業育成支援事業・特別会計）

産地の行事や概況など内外にアピールする。【継続】

(6) WEBマガジン「テキスタイル&ファッション」の発行

業界団体や関係機関・企業へ産地の概況など定期的にメールマガジンを発行し、産地のアピールを図る。配信数=146件【継続】

5. 情報発信

(1) I Tの戦略的活用

ホームページでの情報開示に加え、情報の充実を図りながら、個人宛てに積極的に発信する。受発信を強化し、FDCへの意見等のフィードバック等、より戦略的に活用する。【改新】

(2) 国内外ファッション関係資料提供（地域産業育成支援事業・特別会計）

コレクションの図書等専門誌の購入・保管し閲覧により情報提供を行う。【継続】

(3) ファッション・テクノ工房

柄シミュレーションソフトを活用し、見本作製の援助を行う。【継続】

APPEAL（地域の魅力発掘）

アピール事業

1. 地場製品の展示・即売（地域産業育成支援事業・特別会計）

FDC 1階・常設展示場において、各市町村の地場製品の展示・即売を行う。また、百貨店等の特設会場や各売場の地場製品コーナーでの委託販売、及び県内外の「各種イベント会場」に出展し、尾張西部地域のPRを行うとともに製品の販売を行う。【継続】

2. 産地製品の常設展示（地域産業育成支援事業・特別会計）

メンズ及びレディース生地、インテリア織物、意匠燃糸、ニット製品などの産地製品を常設展示し、産地PRと販売促進を図る。【継続】

3. 地域資源発掘

FDC発行物やホームページで各市町村や地域資源を紹介し、商品力の強化やブランド化の促進を図る。【継続】

AMUSE（地域住民とのふれあい）

地域交流事業

1. 教室事業

(1) 手染教室

手描き染めの教室やサークル活動を支援する。【改新】

(2) 手織教室

初心者向けカルチャー教室として、モノづくりに関心をもってもらうための初歩的な教室を、各市町村の施設やイベントの会場へ出張して開催する。また、新たに上級コースを、民間で行われている講座とタイアップして開催する。【改新】

(3) 布（おやこふれあい）教室

夏休み、春休みを中心に、親子での参加を前提とした教室を開催する。【継続】